

1月15日 創立記念日式典 (2頁参照)



2 月 号

平成 31 年 2 月 1 日発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 京極 高宣
 TEL (代表) 03-3334-2101
<http://www.yokufuukai.or.jp/>
 【編集者】露口 長
 【印刷所】株式会社サイド・ビー

平成の終わりに

常任顧問
露口 長



天皇ご退位に伴い、ことし5月1日をもって改元され、平成は終わる。

ある新聞コラムに、「明治ハイカラ」「大正モダン」「昭和元禄」のあとは、はじけて消える「平成バブル」のイメージしか浮かばないと書かれていたが、平成が、戦争のない時代として終わろうとしていることを忘れてはならない。

ところで、浴風会は関東大震災により自活できなくなった高齢者等を援護するため大正14年1月15日に財団法人として誕生し、今年94年目を迎えた。本館が完成したのは大正15年8月12日。昭和への改元はその年の12月25日なので大正期の建築物であり、「東京都選定歴史的建造物」としてその威容は勤める職員たちの誇りともなっている。因みに、大正12年の関東大震災後に、政府は復興事業として恒久的な施設の建築を急ぎ、その結果誕生したのが、浴風会のほか、救療施設としての同愛記念病院、虚弱児童のための児童愛護会、

住宅供給等のための同潤会などである。

沿革

創設された浴風園は、当初から医療処遇を重視して、定員500人の入所者中2割を病者とみて100人を想定し必要な病室等を整備するとともに、医療に従事する医師、看護師を相当数常置した。また、単に治療のみでなく、かなりの期間にわたる生活の場所であるため、看護とともに心の慰安が最も大切という処遇方針のもと、敷地中央に礼拝堂（昭和2年完成）が建設された。

爾後、浴風会の歴史を概観すると、「草創期」（戦争終結の昭和20年まで）、「復興期・胎動期」（高度成長期の昭和30年代まで）、「発展期」（昭和38年の老人福祉法制定から平成12年の介護保険法制定まで）、「成熟期」（介護保険制度への移行）を経て、今日「転換期」（総合保健医療福祉センター建設から）を迎えていると言える。

平成以後の浴風会

平成に入って、浴風会は70周年（平成7年）を機に、老朽化した特養南陽園、浴風園の全面改築を行うとともにケアハウスの新築を、平成12年には介護保険制度への移行に伴う施設の指定制度への変更を行い、13、14年には認知症介護研究・研修東京センター及び第三南陽園・グループホームひまわりの新築、病院の改修を行った。そして、26年には病院（全面改築）と老健くぬぎを合築する高齢者保健医療総合センターの竣工をみた。この間、本部体制の整備、ケアスクール、物忘れ外来の開設など地域に向けた試みを展開してきた。

そこで、新時代にあつては、平成22年に策定された「基本構想」に沿って、高齢者の医療・介護・福祉のザ・センター・オブ・センターズを目指して、有為な人材の確保・養成とともに、時代と地域のニーズを先取りしたサービスの展開、より専門性の活かせる職場づくりと経営基盤の強化への工夫と邁進が一層求められよう。

創 立 記 念 日 式 典

創立記念日永年勤続等表彰者

表 彰 等	所 属	職 種	氏 名
勤続 20 年	浴 風 園	相 談 課 長 兼 サ ー ビ ス 課 長	大久保 剛
	浴 風 園	調 理 員	山口 寛幸
	浴 風 園	調 理 員	神野 一人
	浴風会病院	医 療 相 談 ・ 支 援 室 長 補 佐	高橋 智哉
	浴風会病院	放 射 線 科 主 任	深井 宗
	浴風会病院	ケ ア リ ー ダ ー	河西 真二
	浴風会病院	ケ ア ワ ー ク ー	藤原 光美
	本 部 事 務 局	主 任 研 修 主 幹	鈴木 明香

表 彰 等	所 属	職 種	氏 名
東京都知事感謝状 (高齢福祉功績者)	南 陽 園	副 園 長	澤 田 猛

平成 31 年 1 月 15 日は平成最後の当会の創立記念日
(94 周年) でした。

毎年この記念日に、永年勤続の職員表彰並びに会
内ご利用者ボランティアへの感謝状贈呈式が行われ
ます。

本年は別表のとおり永年勤続 20 年の職員 8 名に、
表彰状と記念品が贈られ、他団体表彰 1 名には、記
念品が贈られました。

また、1 年以上に亘り各施設内外で環境美化、清
拭たみ等、様々なボランティアを行っている会内
ご利用者の皆様に感謝状と記念品が贈られました。
今回初めて感謝状を受けたご利用者は 30 名、前年よ
り継続して行っている方々が 63 名、合計 93 名に及び
ました。

理事長より対象職員に対してはねぎらいと更に当
会の発展に寄与いただきたい旨、ご利用者に対して
は感謝と今後とも健康にご留意しながら引き続きご
協力下さるよう挨拶がありました。

永年勤続者及び他団体表彰者の
方々と共に理事長を囲んで



認知症介護研究・研修東京センターの事業

認知症介護研究・研修東京センター
副センター長 佐藤 信人

当センターは、浴風会の組織ですが、職員や関係各所の皆様には、位置付けや事業実態が見えにくいかもしれません。当センターは、認知症高齢者の認知症介護技術に関する研究・研修、人材交流、情報発信の拠点として厚生労働省の法令に基づき浴風会に設置運営されている機関です。介護保険制度の施行と同時に平成12年に創設され、今日では、約20名のスタッフで約20年の実績を重ねてきました。国からの全額補助により運営する研究・研修です。認知症施策推進の重要な一翼を担うことを基本姿勢としています。

我が国では、認知症の有病者数が平成37年に740万人にのぼると推計されています。介護をされるご家族などの人数をあわせると、あと6年後には2千万人〜3千万人という膨大な国民の皆様が認知症とともに生きていく時代がきます。対応を急がなければなりません。当センターの研究・研修の成果が認知症ケアの向上に大いに寄与し、確実に認知症の人やそのご家族、国民の皆様の役に立つよう積極的な研究・研修を行っています。

研修の大きな柱は、我が国の認知症施策推進の計画である新オレンジプランに位置付

けられた法定研修の認知症介護指導者研修と認知症地域支援推進員研修です。これまで指導者、約900人、推進員、約7,300人（いずれも平成29年度末累計）の養成を終えています。加えて、有効なBPSD（行動・心理症状）ケアを組み立てるための「ひとときシート」を用いた独自研修も実施しています。いずれの研修もPDCAサイクル(plan-do-check-action)により逐年精度を高め確実に実施していくよう努めています。また、研修を修了して終わりではなく、修了者のネットワークを活かして認知症支援の第一線での実践の情報や課題の把握・分析研究に努め、その成果を更に研修に活かしていく好循環をつくりだすようにしています。

また、厚生労働省や文部科学省などの公的研究資金や団体による研究助成金等を活用し様々な研究を行っています。大別すれば、長期間をかけた基礎的な研究と、その時々々の国の施策動向に応じ短期間で成果を出す研究の2段階構えの構造で進めています。とりわけ、認知症の人ご本人や介護者にとりて負担感が強いと考えられるBPSDを

軽減することが重要であるため、ケアレジストリ研究を精力的に進めています。この研究には、会内の施設からもご協力をいただき浴風会一体型で進めているところです。

我が国は、世界に例をみない人口構造、超高齢社会を乗り越えていくために、地域包括ケア・地域共生社会の構築を指向することになっていますが、認知症施策は、こうしたテーマを果たすためにわかりやすい切り口でもあります。このためには、指導者と推進員の有効な活動を地域に根付かせていく必要があります。

当センターは、自由な発想・先進的なケアを切り開き、全国あまねく認知症ケアの水準が向上し、認知症になっても、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会の実現のために邁進していきます。



浴風会の動き(1月)



グループホームひまわりに、落語家の和泉家舌朝さんがいらっしゃいました。

【本部事務局】

4日 「年頭拡大経営企画会議・幹部会議」を開催。

15日 法人創立記念日「永年勤続者等表彰並びに利用者構内ボランティアへの感謝状贈呈式」。

併せて、昨年、露口顧問の叙勲並びに東京都知事感謝状を受賞した澤田南陽園副園長についてもご紹介をいたしました。(2頁参照)

23日 第4回理事会(書面決議)開催。承認事項…新会長の選任について2月1日付にて佐々木典夫氏(みよお)が選任される。(浅井)

浴風会ケアスクール

Cafeオレンジリボンウッド

9日 「よくふう語ろう会(認知症介護家族会)」参加者21名。

18日 特別区職員互助組合介護講座「介護離職をしないために」自分の人

生をあきらめない介護」参加者59名。講師…和田秀樹氏。

25日 Cafeオレンジリボンウッド開店。来店者71名、新春特別企画「歌声サロン」を開催。懐メロ・唱歌などアコースティックギターに合わせて歌いました。今回は2月22日(金)本館1階第三会議室にて開店いたします。パン、焼き菓子、コーヒーの他素敵な小物の販売と、折り紙など一緒に楽しめる手作りコーナーもあります。みなさまのご来店をお待ちしております。

28日 新宿区受託事業「第2回地域安心カフェボランティアフォローアップ研修」講師…河合恒氏。

31日 都立永福学園 高等部就業福祉科 福祉コース1年生施設見学、見学者21名。(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

元旦 「新年のお祝い会」を開催。海老、数の子、きんとん、田作り、なます、黒豆などのお正月お祝い膳をご用意し、皆様と一緒に新年を祝いました。

9日 第六天神へ「初詣」に行きました。寒い中でしたが皆様には暖かい格好をしていただき外出し、職員とともに一年の健康と平安を祈願しました。(宮崎)

松風園 (軽費老人ホーム)

1日 毎年恒例の「元旦式典」を行いました。鏡餅やお正月飾りの華やかな

雰囲気の中、お祝膳やお雑煮をいただき、新年を祝いました。皆様の演芸も披露され、楽しいひと時となりました。また、式典終了後、午後から希望の方と高井戸第六天神に初詣をしました。



15日 「浴風会創立記念日の式典」があり、ボランティア活動の表彰も行なわれました。当園では8名の方が日頃続けておられるボランティア活動について感謝の意を込めた表彰を受けました。(宮中)

浴風会ケアハウス

4日 今年最初の「歩こう会」は、近所の第六天神に初詣となりました。

17日 「お菓子作り教室」を開催。今回もご利用者の方に講師をお願いしました。

23日 浴風園のお茶室にて「初釜の会」を開催しました。(隈本)

【介護保険事業】

南陽園 (特別養護老人ホーム)

1日 「新年祝い会」を行いました。お屠蘇、お雑煮、おせち料理など豪華な食事を楽しみ新年を祝いました。本年もよろしくお願い申し上げます。

15日 近所の第六天神まで「初詣」に出かけました。皆様、今年一年の健康と平安を祈願されていました。

2日 「書き初め」を行いました。

15日 「浴風会創立記念式典」が行われました。永年勤続の職員の表彰と施設内でご利用者が行っているボランティア活動の表彰を行い、今年は新たに12名のご利用者が表彰されました。(丸山)

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

当サービスセンターでは、長年に亘って配食サービスの提供をさせて頂きましたが、平成31年3月30日をもって中止することを決定いたしました。

管理栄養士の献立による栄養バランスの良い夕食を、配達員が手渡しでお届けしてまいりましたが、諸般の事情により中止に至ったことは大変申し訳なく思います。今までご利用いただきまして、ありがとうございました。

3月末までは、今まで通りご希望に沿って、配食サービスを続けて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。(徳増)

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。

◎電話03-3334-2743 (徳増・工藤)

第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

1日 「新年祝会・書初め」を行いました。



1月上旬の初詣週間は、ご家族にもお越しいただき、一緒に近くの第六天神まで初詣に出掛けました。

15日 「浴風会創立記念日」。ご利用者が施設で行なっているボランティア活動の表彰も行なわれ、当園では1年以上毎日ボランティアの方17名のうち初受賞の4名が表彰を受けられました。

(山崎)

第二南陽園在宅サービスセンター

(通所介護、介護予防通所介護)

4月10日 寒いながらも良い天気恵まれ初詣に行きました。「ここで皆が行けるから嬉しい」とのお声をいただきました。ディーサービスに戻って、今年の抱負を挙げていただきました。

(尾滝)

★見学申し込みやデイサービスへの質問やお問い合わせは随時受け付けています。

☎03-3334-2140

第三南陽園 (特別養護老人ホーム)

1日 平成最後のお正月を迎え、「新年祝い会」を行い、ご利用者の皆様へ園長からお屠蘇をつがせていただきました。とても笑顔溢れる元旦となりました。

1月7日 とても寒い日でしたが、防寒をしつかりして、第六天神社へ「初詣」に行ってきました。両手を合わせて、今年1年をお願い事をされていました。おやつでは甘酒を召し上がりしました。

15日 「創立記念式典」。1年通して施設内でボランティア活動をされているご利用者の代表の方4名が参加され、理事長から感謝状と記念品を贈呈しました。

した。いつも、いつもありがとうございます。(谷口)

グループホームひまわり

1日 「新年祝い会」。「おいしい」「豪華ねえ」と話しながら見た目も綺麗なお節料理に舌鼓をうち、お屠蘇で新年のお祝いをしました。午後には初金として皆さんでお茶を点てました。



2日 「書初め」。お手本を見ながらお正月にちなんだ言葉を書かれています。「昔はよく書いたけど最近書かなくなつたわね。」「難しいけど、懐かしいわ。」と楽しまれている様子でした。

4月10日 「初詣」。近くの第六天神社に初詣に行ってきました。健康のこと、家族のこと等それぞれの願いをこめて、真剣に手を合わせておられました。今年も皆様にとって良い一年となりますように。(村下)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

「杉並区の見守り協力員」の全体連絡会が年に1回あります。今年は、高井戸の協力員の活動を報告しました。高井戸の担当区域にある小規模多機能事業所「みたけ」の地域交流室をお借りして、月1回のサロンを3年前から始めました。体操をした後にお茶を飲みながらお話をします。少しずつ参加

者も増え、時には、外で体操をする事もあるほどの人気です。お互いに声をかけ合いながら参加し、それが大きな見守りになっています。併設の保育園とも、夏祭り等での世代を超えた繋がりが少しずつ始まっています。地域の中でも様々な垣根を越え、協力員の皆様と今後も見守りの輪を広げて行きたいと思っています。(尾関)

杉並区地域包括支援センター

ケア24高井戸

☎電話03-3334-2495

【病院事業】

浴風会病院

当院では「脳ドック」を行っております。MRI(高性能磁気共鳴装置)やCTスキャン、脳波などを組み合わせて多方面から脳の状態をチェックします。認知症や寝たきりの原因となる脳血管障害の早期発見や、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤の発見が可能となります。「脳ドック」は予約制で、実施日は水、木(祝日を除く)の午後となっております。詳しいお問い合わせ、ご予約は浴風会病院医事課までお願いいたします。皆様のお申し込みをお待ちしております。(中澤)

☎03-3332-6511(代表)

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

7月9日 3階デイケアでは新年会を行いました。かるた大会やジェスチャー



ーゲームなどで楽しみ、新年をお祝いしました。

18日 2階入所フロアにて書道クラブを開催しました。昨春秋より月2回ほど行っておりますが、ボランティアで指導してくださる先生と一緒に熱心に参加されています。

25日 ボランティアによる恒例のフルートコンサートを開催しました。毎月のコンスアートとなっていますが、入所者の皆さんは楽しみにされておりま

す。くぬぎは老健の役割である「在宅復帰」や「在宅生活支援」に取組んでおりますが、1月より在宅強化型としての運営を都に届出いたしました。今後も、地域の皆さまのニーズに応えられるよう努めて参ります。(森屋)

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。

☎03-5336-7701(代表)

☎03-5336-7734(入所)

☎03-5336-7704(デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

7日 AI介護研修会

18日 第3回認知症地域支援体制推進合同セミナー

21日 第3回後期認知症介護指導者養成研修(2/1迄)

17日 韓国の在宅老人福祉協会(韓国地域研究所)より、30名様の見学がありました。(村上)



つなげたい浴風会の今①

軽費老人ホーム 浴風会松風園



新しい連載のトップバッターを承りました、松風園の寺林です。

軽費老人ホームは自立した生活の場で、利用者のみなさまも健康への関心が高く、園内での介護予防にも多数の方が参加して、体操や脳トレ、手仕事での作品作り、またクラブ活動としてバドミントンやカラオケ、調理などを楽しんでおられます。

平均年齢は84歳。年齢とともに筋力の低下や体調不良を訴える方もおられ、介護保険を利用する人も増えつつある中で、松風園でも本格的に介護予防リハビリに取り組み始めました。

私が担当しているのは体を中心とした機能訓練で、ボールやマット、エアロバイクなどを使ったトレーニングの他、室内でのゴロ卓球やキヤッチボール、パラリンピックの正式種目であるボッチャ、外に出てポールウォーキングなどに参加いただいています。

時にはトレーニングから脱線して、雑談が主体になることもあります。健康運動指導士は

いつまでも元気で、
自立した生活をサポート
ケアワーカー・健康運動指導士 寺林 祐貴

施設概要

類型：軽費老人ホーム A 型
 設立：1962 年
 定員：200 名
 対象：東京都内にお住まいで、入居後も自立した生活を送ることができる方
 内容：お住い、食事、また生きがいを持って生活していただくためのサービスなどを提供する、老人福祉施設です。

「個々人の心身の状態に応じた、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成及び指導を行う者」なので、雑談を通じて気持ちの面でもサポートできればいいな、と思っています。

心身の力が低下したり、入院をきっかけに部屋に引きこもりがちになると、どうしても運動の機会が少なくなり、松風園での生活が難しくなる方もいらつしやいます。

常時介護が必要になると、住み慣れた松風園から引越しをすることになるのですが、ここ松風園で、一日でも長く元気で自立した生活を送っていただけるよう、スタッフ一同でサポートしていきたいと思っています。



トピックス「第38代会長」

1月23日理事会（書面決議）において、近藤純五郎前会長の後任として、佐々木典夫氏（社会福祉法人友愛十字会会長、社会福祉法人こどもの国協会理事長）が2月1日付で選任されました。

ご芳志

平成30年12月16日から

平成31年1月15日

多くの方々より

ご芳情をいただきました。

ありがとうございました。

〈金品・物品〉

●本部

井上 敏子様、富士見ヶ丘一心会様、

宗教法人大日然教 折茂 美枝様、

稗田 富美男様、宮沢 郁子様、

株式会社大林組様

大成建設株式会社様

株式会社東芝様

●第二南陽園

保田 耿太郎様

●第三南陽園

五明 礼次郎様、岡田 俊子様、

國嶋 雅子様

【ご意見をお寄せください】

〒1168-8510※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

sounu2@yokufukai.or.jp

http://www.yokufukai.or.jp/